

NYマーケットレポート(2012 年 3 月 1 日)

21 : 40

ISDA (国際スワップ・デリバティブ協会)

- ・ギリシャ債 CDS で決済起こらず
- ・ECB 保有債の交換は信用事由に当たらず

《ポイント》

デリバティブの取引慣行を決めている業界団体である ISDA (国際スワップ・デリバティブ協会) が、ギリシャ国債について、国債などのデフォルトに備えた CDS (クレジット・デフォルト・スワップ) の対象にならないとする見解を発表。CDS の対象となれば保険を引き受けている銀行が多額の損失を被る恐れがあった。これを受けて、投資家のリスク志向が高まる要因となった。

NY 市場オープン

22:00

ドル/円 81.09 ユーロ/円 107.89 ユーロ/ドル 1.3307

22:00

欧州株式市場・米株価指数先物

欧州主要株価	株価	前日比	米株価先物	株価	前日比
英 FT100	5904.27	+32.76	ダウ INDEX FUTURE	12962	+25
仏 CAC40	3475.40	+22.95	S&P500 FUTURE	1366.80	+2.40
独 DAX	6898.08	+42.00	NASDAQ FUTURE	2631.75	+8.75

(出所：ブルームバーグ)

22 : 30

《 経済指標結果 》

新規失業保険申請件数 35.1 万件 (予想 35.5 万件・前回 35.3 万件)
前回発表の 35.1 万件から 35.3 万件に修正

失業保険継続受給者数 340.2 万人 (予想 341.8 万人・前回 340.4 万人)
前回発表の 339.2 万人から 340.4 万人に修正



(出所：ブルームバーグ)

経済指標データ

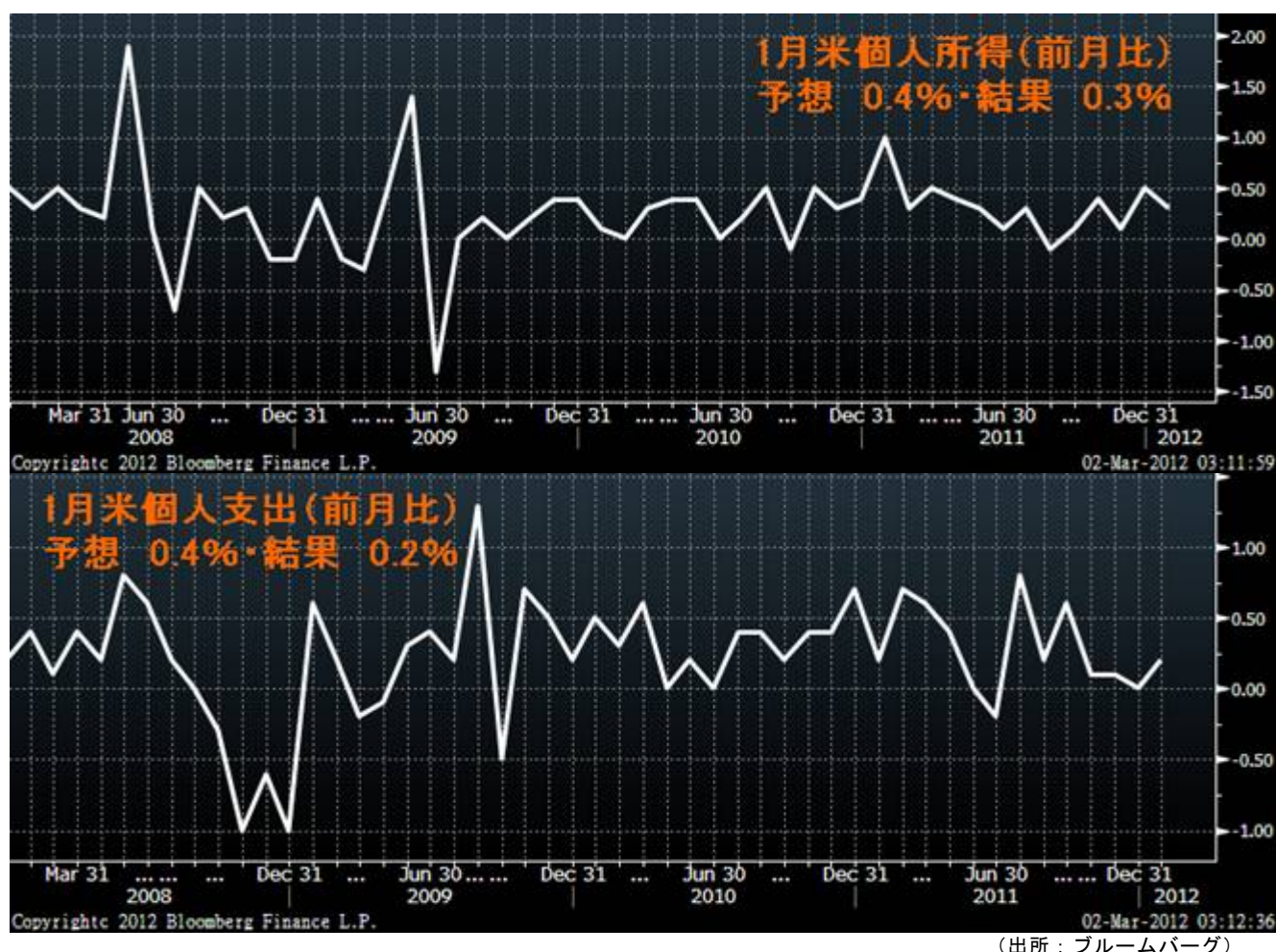
《新規失業保険申請件数・継続受給者数》

	申請件数	前週比	4週移動平均	受給者数	受給者比率
12/02/25	351,000	-2,000	354,000	*****	*****
12/02/18	353,000	+2,000	359,500	3,402,000	2.7%
12/02/11	351,000	-10,000	366,000	3,404,000	2.7%
12/02/04	361,000	-12,000	367,000	3,444,000	2.7%
12/01/28	373,000	-6,000	377,250	3,526,000	2.8%
12/01/21	379,000	+24,000	377,750	3,451,000	2.7%
12/01/14	355,000	-47,000	379,750	3,567,000	2.8%
12/01/07	402,000	+27,000	382,500	3,459,000	2.7%

受給者数は集計が1週間遅れる

1月米個人所得（前月比） 0.3%（予想 0.4%・前回 0.5%）

1月米個人支出（前月比） 0.2%（予想 0.4%・前回 0.0%）



指標結果データ

《米個人所得・支出》

	1月	12月	11月	10月	9月	8月
個人所得	0.3	0.5	0.0	0.4	0.3	0.1
賃金・給与	0.4	0.4	0.0	0.6	0.7	0.3
可処分所得	0.1	0.4	0.0	0.3	0.3	0.2
個人消費支出	0.2	0.0	0.1	0.2	0.7	0.1
耐久財	0.9	0.5	0.0	1.2	2.9	-1.0
非耐久財	0.4	-0.8	-0.2	0.0	1.1	0.3
サービス	0.0	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
個人貯蓄率	4.6	4.7	4.3	4.4	3.5	4.1

1月 PCE デフレーター (前年比) 2.4% (予想 2.3%・前回 2.5%)
 前回発表の 2.4%から 2.5%に修正

1月 PCE コア・デフレーター (前月比) 0.2% (予想 0.2%・前回 0.1%)
 前回発表の 0.2%から 0.1%に修正

1 月 PCE コア・デフレーター（前年比） 1.9%（予想 1.8%・前回 1.9%）
前回発表の 1.8%から 1.9%に修正

4Q カナダ経常収支 -103 億 CAD（予想 -96 億 CAD・前回 -123 億 CAD）
前回発表の-121 億 CAD から-123 億 CAD に修正

1 月カナダ原料価格指数（前月比） 0.1%（予想 0.5%・前回 -2.5%）
前回発表の-2.4%から-2.5%に修正

1 月カナダ鉱工業製品価格（前月比） 0.3 %（予想 0.3%・前回 -0.9%）
前回発表の-0.7%から-0.9%に修正

《ここまでの欧州のポイント》

- ①ユーロ圏（17 カ国）の 1 月の失業率は、昨年 12 月から 0.1 ポイント悪化の 10.7%となった。また、EU 全体（27 カ国）も 0.1 ポイント悪化の 10.1%となった。
 - ・ 欧州債務危機の影響でユーロ圏諸国が景気後退入りする中で、雇用情勢の悪化に歯止めがかからず、失業率は 1999 年のユーロ導入以来最悪の水準が続いている。
 - ・ 1 月の失業率は、スペイン 23.3%、ポルトガルとアイルランド 14.8%、イタリア 9.2%、フランス 10.0%、ドイツ 5.8%、ギリシャ 19.9%（11 月）。
 - ・ 1 月のユーロ圏の失業者数は、前月比+18.5 万人の 1692.5 万人。EU 全体では、+19.1 万人の 2432.5 万人。
- ②フランス政府は国債入札を実施し、合計 79 億 9000 万ユーロ（約 8640 億円）を発行した。フランスの 10 年債（39 億 2000 万ユーロ）の平均落札利回りは 2.91%（前回 3.13%）となった。また、このほかにも 5 年物と 7 年物、14 年物も発行した。ECB による大量の流動性供給がユーロ圏の国債需要を支えていることがあらためて示された。
- ③スペイン政府は入札を実施し、2、3、4 年国債を合計 45 億ユーロ（約 4860 億円）相当を発行した。3 年債（19 億ユーロ）の平均落札利回りは 2.617%（前回 3.332%）、応札倍率は 2.37 倍（前回 2.19 倍）となった。
また、4 年債の平均落札利回りは 3.376%（前回 4.021%）、応札倍率は 2.59 倍（前回 3.24 倍）、2 年債の利回りは 2.069%、応札倍率は 2.81 倍だった。

④欧州債券市場は、イタリア国債の価格が上昇し、長期金利の指標となる10年債利回りは昨年8月半ば以来、約半年ぶりに5%を割り込んだ。ECBの大量の資金供給を受け、イタリアの財政危機が後退したことを好感し、節目の5%を下回る結果となった。

⑤ISDA（国際スワップデリバティブ協会）の判定委員会は、ECB保有のギリシャ債が債務減免の対象とはならない新証券に交換されたことについて、ギリシャ債を保証するCDS（クレジット・デフォルト・スワップ）の決済を引き起こす信用事由には当たらないと発表した。

・ISDAはギリシャ救済計画の一部が信用事由となるかどうかの判断を求められ、判定委員会を開いていた。ECB保有債の交換がCDS決済の事由の一つである他の債権者の劣後化に当たるかどうかを検討。これに該当しないと判断した。

23 : 34

米主要株価

米株価先物	株価	前日比
ダウ平均	13004.67	+52.60
S&P500	1371.05	+5.37
ナスダック	2979.09	+12.20

（出所：ブルームバーグ）

23 : 40

2月の米自動車販売で、フォードは+14%となり、市場予想の+9.4%を上回った。

0 : 00

◀ 経済指標結果 ▶

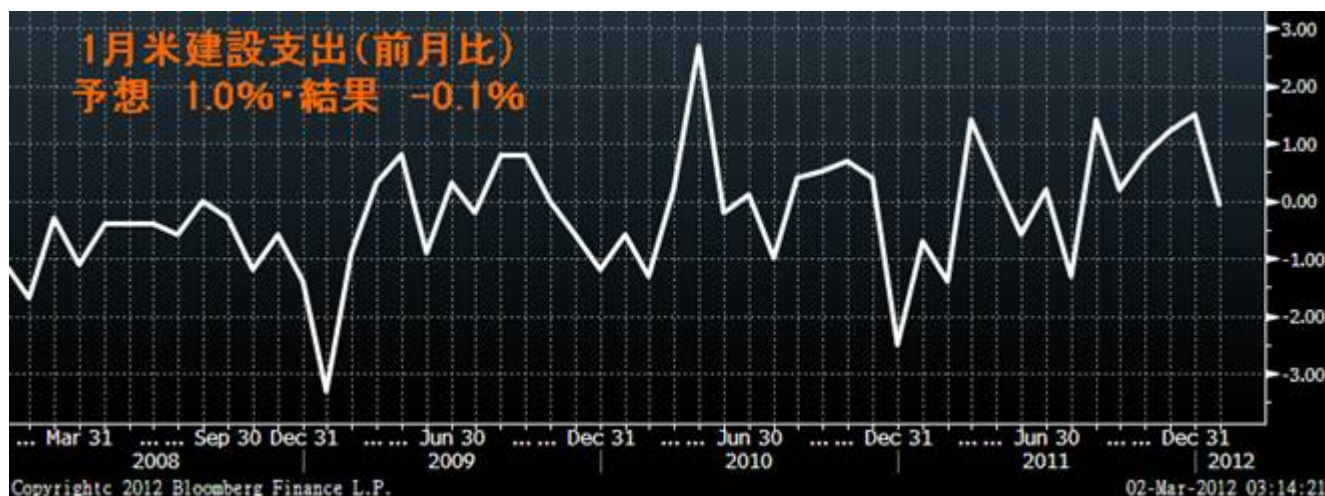
2月ISM製造業景況指数 52.4（予想 54.5・前回 54.1）

1月米建設支出（前月比） -0.1%（予想 1.0%・前回 1.4%）

前回発表の1.5%から1.4%に修正



（出所：ブルームバーグ）



(出所：ブルームバーグ)

経済指標データ

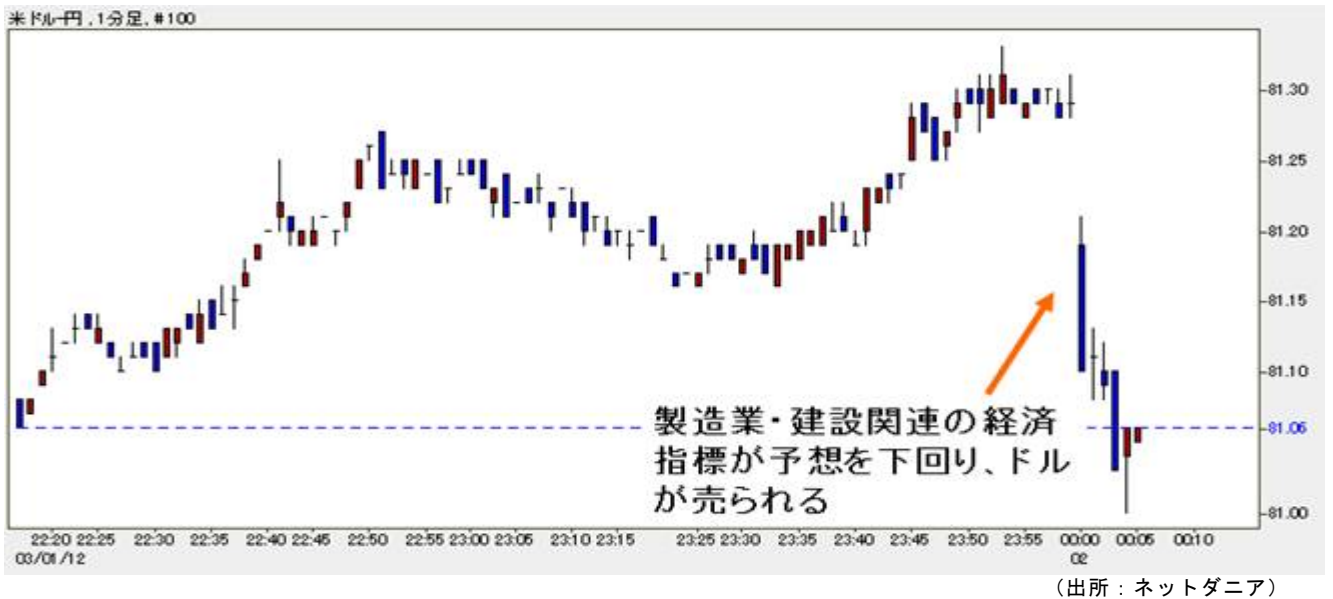
《米 ISM 製造業景況指数》

	2月	1月	12月	11月	10月	9月
景気	52.4	54.1	53.1	52.7	50.8	51.6
新規受注	54.9	57.6	54.8	56.7	52.4	49.6
生産	55.3	55.7	58.9	56.6	50.1	51.2
雇用	53.2	54.3	54.8	52.4	54.0	55.2
入荷遅延	49.0	53.6	51.5	51.3	52.2	51.6
在庫	49.5	49.5	45.5	46.5	46.5	52.0
価格	61.5	55.5	47.5	45.0	41.0	56.0
受注残	52.0	52.5	48.0	45.0	47.5	41.5

指標結果データ

《建設支出》

	1月	12月	11月	10月	9月	前年同月比
総建設支出	-0.1	1.4	0.4	-0.2	0.2	7.1
民間部門	0.0	1.8	-0.4	0.7	0.2	11.7
住居	1.8	1.5	-0.3	2.3	0.6	6.7
オフィス	-0.7	0.4	0.2	-5.7	1.3	2.9
商業	-1.0	-0.8	0.0	-1.3	-4.4	8.5
輸送	-2.1	0.9	-4.8	-0.4	3.0	3.1
公共部門	-0.2	0.7	1.7	-1.8	0.3	-0.5
教育	-0.9	1.7	-0.5	-1.6	2.1	2.3
道路	-0.2	1.3	1.6	0.4	2.4	4.5



《 ここまでのポイント 》

ユーロ圏の1月の失業率が悪化し、雇用情勢の悪化に歯止めがかからず、1999年のユーロ導入以来最悪の水準が続いていることを受けてEURは1.3348から軟調な動きとなり、1.3320のS/Lをこなし1.3301まで下落、さらに1.3283まで下落する動きとなった。その後、NYタイムに入り、ISDAがギリシャの債務交換は決済を引き起こす信用事由には当たらないと発表したことから、EUR/USDの下げ幅が縮小し1.3324まで値を戻している。

USDは欧州タイムではやや小動きの展開が続いたが、NYタイムに入り、昨日のバーナンキFRB議長の議会証言が材料視され、USD/JPYは81.09⇒81.33まで上昇するなど堅調な動きとなった。しかし、建設関連、製造業関連の経済指標が市場予想を下回ったことから一転して下げに転じ、USD/JPYは高値の81.33から80.96まで下げる動きとなった。なお、クロス円もやや軟調な動きとなっている。

0:35

《 要人発言 》

ラスキン FRB 理事～講演

- ・「経済成長は緩やかなペースにとどまる見通し」

0:40

《 NY 株式市場 序盤 》

序盤の米株式市場は、米失業保険申請件数がほぼ予想と一致し、引き続き低水準だったことから、米雇用情勢が改善しているとの見方が広がった。しかし、製造業や建設関連の指標が市場予想を下回ったことで、やや上値の重い展開が続いている。ダウ平均株価は、序盤から堅調な展開が続き、一時前日比で80ドル高まで上昇したものの、その後はやや売り買いが交錯する展開が続いている。

0 : 45

《 要人発言 》

バーナンキ FRB 議長～上院議会証言、質疑応答

- ・「米財政は持続不可能な方向にある」
- ・「製造業は米景気回復を主導している」
- ・「景気後退は米国の潜在成長に悪影響を与えていない」

- ・「企業の立ち上げが雇用創出に重要な役割を果たす」
- ・「連邦準備制度は欧州危機に非常に注目している」
- ・「米銀の欧州債務へのエクスポージャーは限定的」

- ・「ボルカールールでの米国債とその他国債の異なる扱いに関する懸念を真剣に受け止めている」

上院議会証言の内容は、前日の下院での議会証言と同じ

1 : 10

FRB は、ニューヨーク連邦準備銀行を通じた公開市場操作により、86.04 億ドルの米短期国債の売却を実施した。

1 : 20

ユーログループ発表

- ・ギリシャ国債交換のための EFSF 債発行を承認

《 経済指標のポイント 》

- (1) 米失業保険申請件数は、前週比-0.2 万件の 35.1 万件となり、ほぼ市場予想と一致した。集計が 1 週遅れる失業保険受給者数は、前週比 0.2 万人の 340.2 万人となった。申請件数は、引き続き低水準だったことから、米雇用情勢は改善傾向が続いているとの見方が出ている。
- (2) 1 月の米個人所得・消費統計によると、個人消費支出は前月比+0.2%となり、3 ヶ月ぶりの伸び率となった。個人所得は+0.3%で前月から縮小した。税金の支払いなどを除いた可処分所得は+0.1%、貯蓄率は 4.6%に低下した。
 - ①FRB が物価安定の目安とする個人消費支出物価指数は、前年同月比で+2.4%と、2%のインフレ目標を上回った。変動の激しい食品とエネルギーを除いた PCE コア物価指数は+1.9%上昇した。
 - ②自動車や家具などの耐久財が+0.9%と 3 ヶ月ぶりの伸び率を示し、食品やエネルギーなどの非耐久財も+0.4%となった。

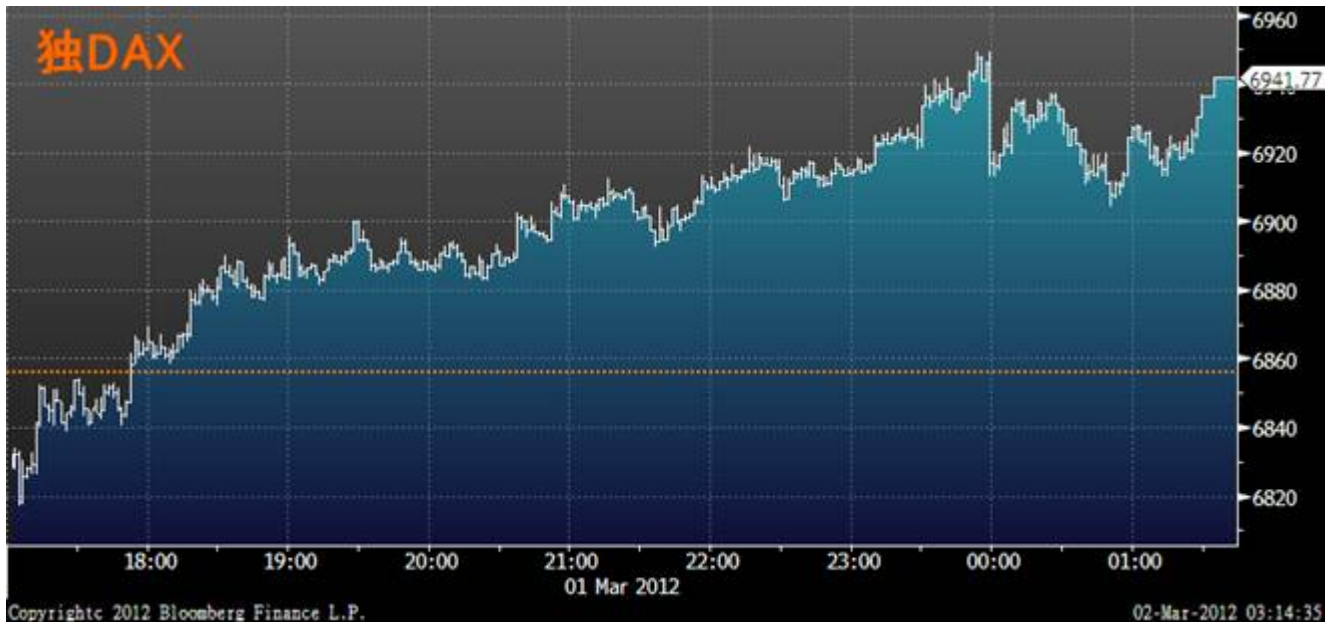
- ③個人消費はプラスとなったが、ガソリン価格の上昇傾向や賃金の伸び悩みなどが消費者の慎重姿勢を誘い、景気の先行き不安材料となる可能性もある。
- (3) ISM 製造業景況指数は、52.4 となり前月から 1.7 ポイント低下した。前月からの低下は昨年 10 月以来、4 ヶ月ぶりとなった。ただ、製造業の景気拡大・縮小の判断の基準となる 50 は 31 ヶ月連続で上回った。
- ①生産指数が 55.3、雇用指数が 53.2、新規受注指数が 54.9 といずれも前月から低下。在庫指数は 49.5 と前月から横ばい、仕入れ価格指数は 61.5 と前月から上昇となった。
- ②18 業種中 11 業種が業況拡大を報告し、前月の 9 業種から増加した。
- ③ISM は、新規受注、生産、雇用の指数は 1 月に比べるとやや低下したものの、景気の拡大傾向を示したとし、向こう数カ月間の景気見通しは全般に前向きだと指摘した。
- (4) 1 月の米建設支出は、年率換算で前月比-0.1%の 8270 億ドルと 6 ヶ月ぶりにマイナスに転じ、前年同月比では+7.1%となった。
- ①民間部門の支出は住宅建設が好調だが、住宅以外の施設建設が振るわず、公共部門も全体でマイナスとなって全体水準を引き下げた。住宅以外の施設建設は、前月比で-1.5%と 2011 年 1 月以来の落ち込みとなった。
- ②民間の建設支出は、前月から横ばいの 5386 億 7000 万ドルで、前年同月比で+11.7%となった。住宅建設が前月比で+1.8%と金額ベースで 2010 年 1 月以来の高水準となり、前年同月比では+6.7%となった。
- ③政府などの公共部門の建設支出は、前月比-0.2%の 2883 億 3100 万ドル、前年同月比は-0.5%となった。連邦政府は減ったが、州・地方政府が伸びた。州・地方政府は、金額ベースで 2010 年 12 月以来の高水準となった。

欧州主要株価	終値	前日比
英 FT100	5931.25	+59.74
仏 CAC40	3499.73	+47.28
独 DAX	6941.77	+85.69
ストック欧州 600 指数	267.06	+2.74
ユーロファースト 300 指数	1086.72	+11.47
スペイン IBEX35 指数	8547.70	+81.80
イタリア FTSE MIB 指数	16830.60	+479.19
南ア アフリカ全株指数	34298.48	+2.48

(出所：ブルームバーグ)

《欧州株式市場》

欧州株式市場では、ECB がユーロ圏の金融機関向けに大規模な資金供給を行ったことが引き続き材料となり、金融株を中心に買いが膨らんだ。



（出所：ブルームバーグ）

2 : 00

米主要株価・中盤

ダウ 12989.68 (+37.61)、S&P500 1372.75 (+7.07)、ナスダック 2985.83 (+18.94)

2 : 00

ギリシャ財務相とレーン欧州委員は、EFSF、債務交換に関する資金調達合意に調印。

《 NY 債券市場・午前 》

ニューヨーク債券市場は、米週間失業保険申請件数が減少したことから、雇用情勢が回復しているとの見方が広がり、安全資産とされる米国債を売る動きが先行した。フランスやスペインの国債入札が堅調だったことからことも、米国債の圧迫材料となった。その後、製造業景況指数が市場予想を下回ったことから、買い戻しが入る場面もあった。

午前の30年債利回りは、3.15%（前日3.08%）、10年債2.04%（1.97%）、7年債1.45%（1.39%）、5年債0.91%（0.86%）、3年債0.43%（0.41%）、2年債0.30%（0.30%）。

2 : 40

《 要人発言 》

ロックハートアトランタ連銀総裁～講演

- ・「債券購入の拡大はインフレリスクにつながる」
- ・「米経済は勢い増しつつあるが、依然自律的な回復の途上」
- ・「低金利金融政策の効果、コスト上回っていると引き続き考える」
- ・「今年の米成長率、2.5%-3.0%と引き続き予想」

4 : 20

NY 金は、中心限月が前日比 10.90 ドル高の 1 オンス＝1722.20 ドルで取引を終了した。

5 : 10

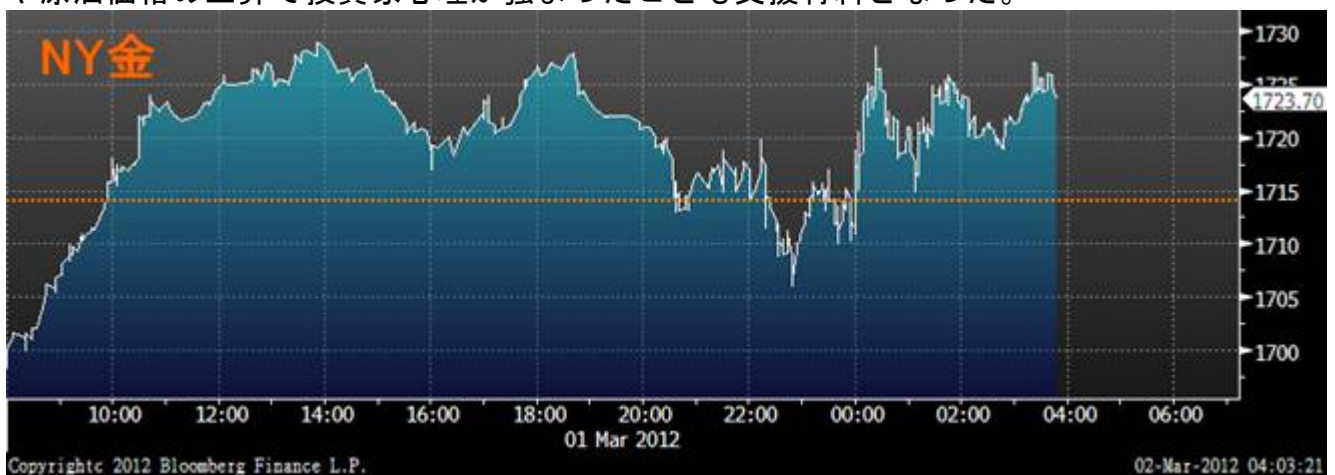
NY 原油は、中心限月が前日比 1.77 ドル高の 1 バレル＝108.84 ドルで取引を終了した。

コモディティー	終 値	前日比
NY GOLD	1722.20	+10.90
NY 原油	108.84	+1.77

(出所：ブルームバーグ)

《 NY 金市場 》

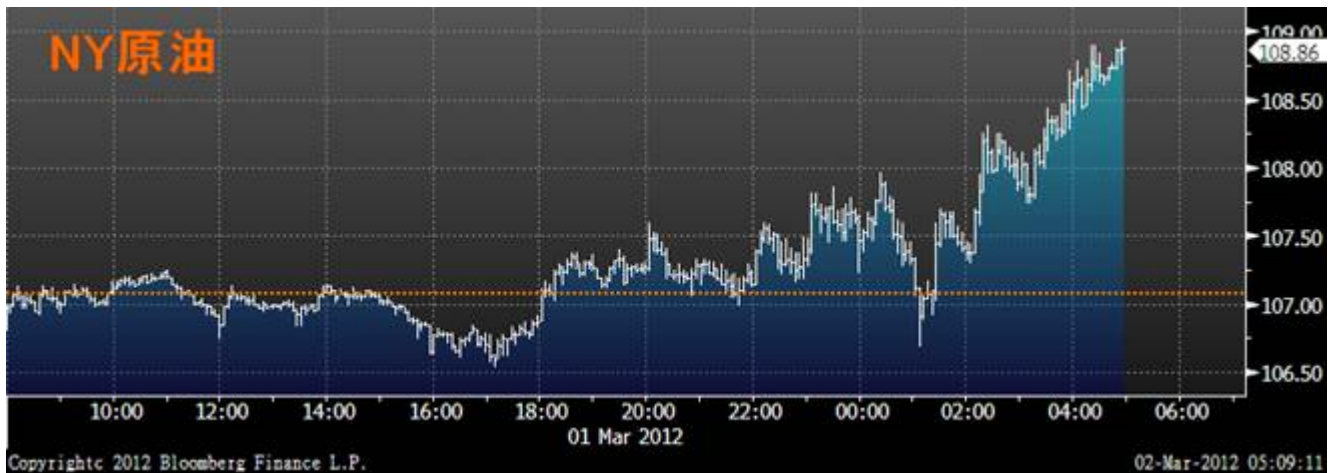
NY 金は、前日の大幅下落を受けて、値頃感による買い戻しが先行した。また、米国株や原油価格の上昇で投資家心理が強まったことも支援材料となった。



(出所：ブルームバーグ)

《 NY 原油市場 》

NY 原油は、米失業保険申請件数が減少したことから、米雇用情勢が改善しており、米景気の回復期待が高まっていることから買いが先行した。また、イランの核開発疑惑をめぐり、欧米諸国との緊張が続いていることも支援材料となった。



(出所：ブルームバーグ)

米主要株価	終値	前日比	高値	安値
ダウ平均株価	12980.30	+28.23	13032.67	12943.06
S&P500 種	1374.09	+8.41	1376.17	1365.90
ナスダック	2988.97	+22.08	2996.37	2974.59

(出所：ブルームバーグ)

《米株式市場》

米株式市場は、米失業保険申請件数がほぼ予想と一致し、引き続き低水準だったことから、米雇用情勢が改善しているとの見方が広がった。しかし、製造業や建設関連の指標が市場予想を下回ったことで、やや上値の重い展開が続いた。ダウ平均株価は、序盤から堅調な展開が続き、一時前日比で 80 ドル高まで上昇したものの、その後は指標結果の悪化を受けて上値の重い展開が終盤まで続いた。



(出所：ブルームバーグ)

	NY 終値	NY 高値	NY 安値
USD/JPY	81.07	81.33	80.96
EUR/JPY	107.93	108.22	107.75
GBP/JPY	129.35	129.58	129.11
AUD/JPY	87.60	87.69	87.25
NZD/JPY	68.00	68.19	67.72
EUR/USD	1.3312	1.3338	1.3283
AUD/USD	1.0804	1.0810	1.0753

(出所：ブルームバーグ)

《外国為替相場》

NY 外国為替市場は、前日のバーナンキ議長の議会証言や米雇用関連の経済指標が改善したことからドルが堅調な動きとなった。また、国際スワップ・デリバティブ協会 ECB 保有債の交換は信用事由に当たらずと発表したことから、ユーロも対円で堅調な動きとなり、円がすべての主要通貨に対して下落した。しかし、米製造・建設関連の経済指標が予想を下回ったことから、円を買い戻す動きが優勢となり、円は一転して大半の主要通貨に対して上昇する動きとなった。ただ、その後はやや落ち着いた動きが続いた。



(出所：ブルームバーグ)

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。